

4. 住宅建設

住宅建設は、持ち直しの動きがみられるものの、依然として低い水準にある。

(戸数は季調済年率、()内は季調済前期(月)比、%)

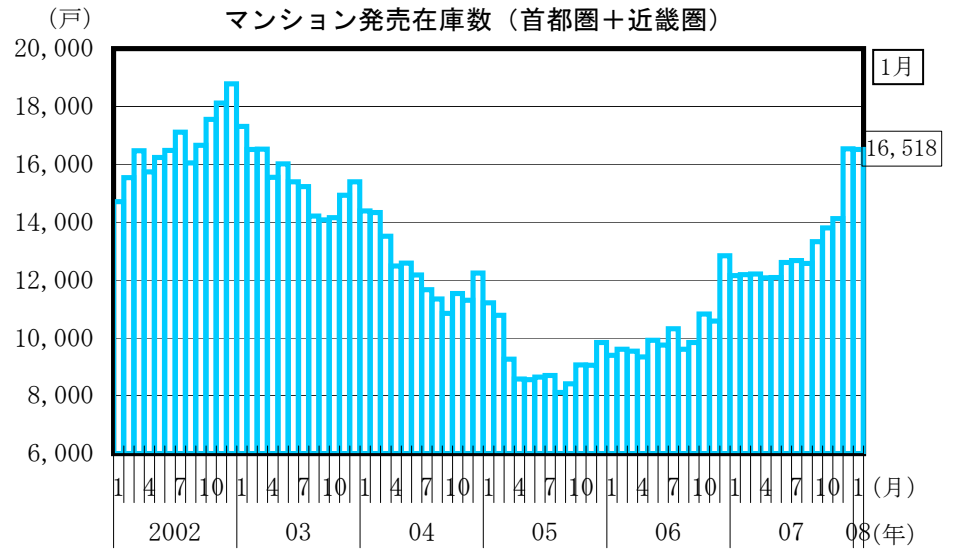
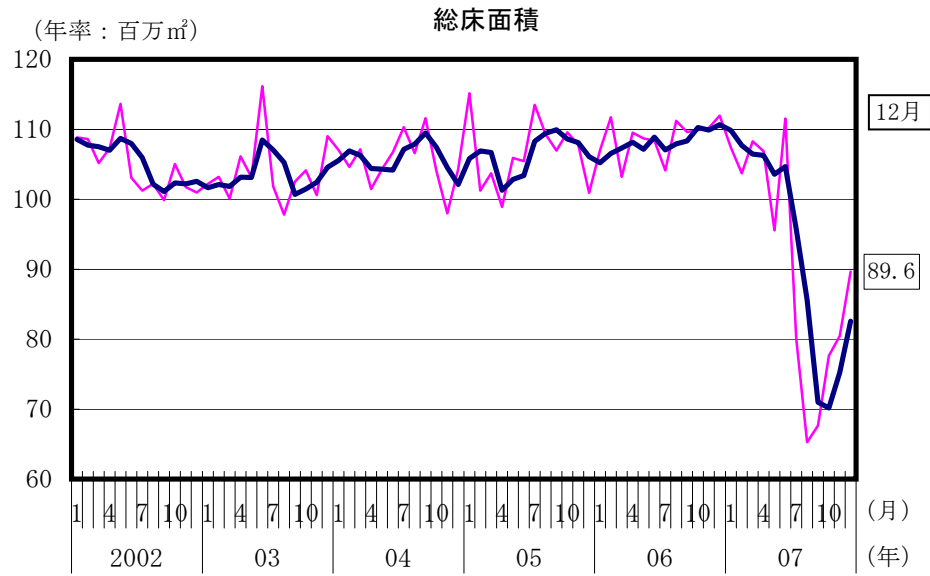
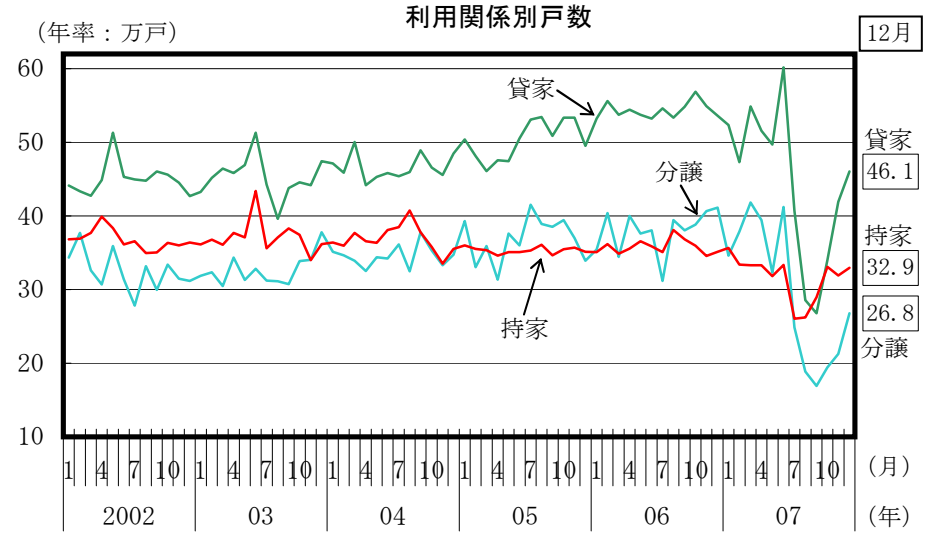
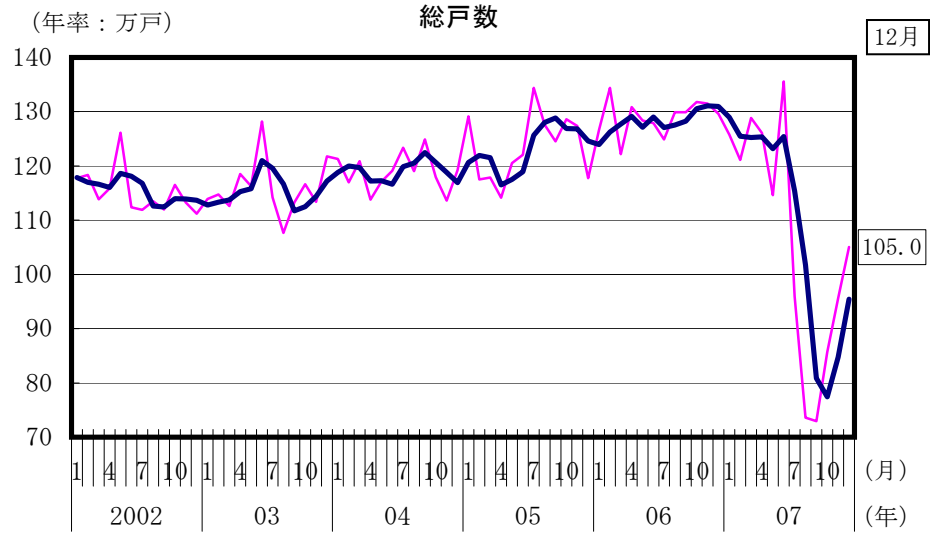
	2006年	2007年	2007年7-9月	10-12月	2007年10月	11月	12月
新設住宅着工戸数 (万戸)	129.0	106.1	79.9	96.1	85.7	95.6	105.0
(前期比)			(▲ 37.1)	(20.3)	(17.5)	(11.6)	(9.9)
(前年比)	4.4	▲ 17.8	▲ 37.1	▲ 27.3	▲ 35.0	▲ 27.0	▲ 19.2
建築主が民間 (前期比)			(▲ 35.9)	(19.3)	(18.2)	(12.3)	(9.2)
(前年比)	4.7	▲ 17.8	▲ 37.1	▲ 26.7	▲ 34.9	▲ 25.9	▲ 18.5
持家 (前期比)			(▲ 17.8)	(21.8)	(14.2)	(▲ 3.4)	(3.2)
(前年比)	1.5	▲ 12.2	▲ 26.3	▲ 7.2	▲ 8.0	▲ 7.6	▲ 6.0
住宅金融機構持家 (前期比)			(▲ 12.4)	(14.3)	(20.1)	(▲ 12.6)	(3.6)
(前年比)	▲ 28.5	▲ 38.4	▲ 46.2	▲ 24.8	▲ 21.1	▲ 28.2	▲ 25.3
貸家 (前期比)			(▲ 41.5)	(26.9)	(26.9)	(23.2)	(9.9)
(前年比)	7.8	▲ 18.7	▲ 41.0	▲ 26.5	▲ 40.2	▲ 23.4	▲ 14.4
分譲 (前期比)			(▲ 46.8)	(9.3)	(15.0)	(9.4)	(25.9)
(前年比)	2.7	▲ 22.3	▲ 44.1	▲ 44.4	▲ 50.2	▲ 47.4	▲ 35.5
戸建・長屋建 (前期比)			(▲ 22.9)	(21.2)	(10.6)	(▲ 4.9)	(4.9)
(前年比)	0.7	▲ 10.5	▲ 26.6	▲ 12.2	▲ 9.5	▲ 15.2	▲ 11.8
共同建て (前期比)			(▲ 59.8)	(1.1)	(23.8)	(24.8)	(47.2)
(前年比)	4.0	▲ 29.1	▲ 55.3	▲ 61.5	▲ 70.4	▲ 63.8	▲ 49.2
着工床面積 (前期比)			(▲ 33.0)	(16.7)	(14.7)	(3.7)	(11.4)
(前年比)	2.1	▲ 16.7	▲ 34.5	▲ 25.6	▲ 29.4	▲ 26.7	▲ 20.3
建築主が民間 (前期比)			(▲ 32.6)	(18.1)	(15.6)	(3.6)	(12.2)
(前年比)	2.3	▲ 16.7	▲ 34.5	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 25.8	▲ 19.6
工事費予定額平米単価 (万円)	16.3	16.6	16.6	16.6	16.5	16.6	16.8
(前年比)	1.2	1.8	1.9	2.0	2.0	2.4	1.5

(備考) 国土交通省「建築着工統計」により作成。

なお、「建築主が民間」とは、建築主別の「会社」、「会社でない団体」、「個人」の合計を、内閣府において季節調整したものである。

また、「工事費予定額平米単価」は、「居住専用+居住産業併用×0.7」の工事費予定額、着工床面積により算出した。

住宅着工戸数、床面積（季節調整値）の推移



(備考) 国土交通省「建築着工統計」、(株)不動産経済研究所資料により作成。
太線は後方3ヶ月移動平均、細線は単月値である。